

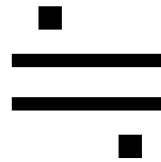
# 日本の大気中の放射線量の安全性について

～ 海外主要都市と同じ安全な水準です！ ～

- 日本国内の大気中の放射線量は海外主要都市とほぼ同等であり、安全な水準です。（出典：[http://www.jnto.go.jp/eq/eng/04\\_recovery.htm#measure](http://www.jnto.go.jp/eq/eng/04_recovery.htm#measure)）

## 【日本の例】

(例1) 福島県 会津若松市	(例2) 福島県 いわき市	(例3) 茨城県 水戸市	(例4) 宮城県 仙台市	(例5) 東京 羽田空港
0.08 $\mu$ Sv/h (2016年11月14日)	0.09 $\mu$ Sv/h (2016年11月14日)	0.054 $\mu$ Sv/h (2016年11月14日)	0.039 $\mu$ Sv/h (2016年11月14日)	0.037 $\mu$ Sv/h (2016年11月13日)



## 【海外主要都市の例】

(例1) 韓国 ソウル	(例2) 中国 北京	(例3) 英国 ロンドン	(例4) 仏国 パリ	(例5) 米国 ニューヨーク
0.119 $\mu$ Sv/h (2016年11月14日)	0.072 $\mu$ Sv/h (2016年11月14日)	0.108 $\mu$ Sv/h (2016年11月14日)	0.044 $\mu$ Sv/h (2016年11月3日)	0.046 $\mu$ Sv/h (2016年11月13日)

※なお、福島第一原発事故後に東京で増加した空間放射線量は年間で0.05mSvに相当しますが、これは、東京～ニューヨーク間の往復フライトで浴びる放射線量（0.20mSv）にも満たない水準です。